

「2040年に向けた我が国金融資本市場のビジョンについての懇談会」の設置について

2026年4月
日本証券業協会

1. 設置の趣旨

現在、我が国ではNISAの抜本的拡充や日本経済の持続的な成長の兆しにより、「貯蓄から投資へ」の流れが現実のものとなりつつある大きな転換期といえる。

一方で、我が国では、今後、人口減少、高齢化、技術革新、GXなど様々な経済、社会環境の変化が見込まれる。

本協会では、「貯蓄から投資、その先へ」の理念の下、2040年を展望し、資産運用と資金調達が一体となって活力を生む金融資本市場のビジョンを示すとともに、その実現に貢献する証券業界の将来像を幅広く議論するため「2040年に向けた我が国金融資本市場のビジョンについての懇談会」（以下「懇談会」という。）を設置することとする。

2. 検討事項

- (1) 2040年に我が国金融資本市場が目指すべきビジョンの設定
 - ① 家計の資産運用（保有金融資産）の観点
 - ② 企業の資金調達の観点
 - ③ 政府部門の資金調達の観点
 - ④ 我が国金融資本市場の国際化と競争力強化の観点
- (2) ビジョンの実現に向けた証券業界の役割

3. 構成

- (1) 懇談会の委員は、会員（グループ会社を含む。）の役職員及び有識者をもって構成する。
- (2) 懇談会の座長は、会長が務めるものとする。
- (3) 懇談会には、座長代理を置くことができる。
- (4) 懇談会の委員は、座長が選任する。
- (5) 懇談会の座長代理は、座長が、委員のうちからこれを選任する。
- (6) 懇談会には、必要に応じオブザーバー等を置くことができる。
- (7) 座長は、必要に応じ関係者に出席を求めることができる。

4. 事務の所管

懇談会は、証券戦略部門・自主規制部門の執行責任者の指揮・監督のもとに運営する。
庶務は、本協会 社会連携本部 金融証券研究センターが担当する。

以上